

新図書館新築工事の適正な入札時期について

1 新図書館新築工事不調後の経過

- ①設計業者を通じ建設業界のヒアリングを実施するなど、原因を調査
- ②木材・鋼材を始めとする資材価格や労務費が著しく高騰している状況
- ③現市場は、コロナショックによる需要急減から回復し、「事業者が供給できる工事量」を「建設需要」が大幅に上回るなど、事業者が利益率の高い工事を選別できる「超売り手市場」にある
- ④このような状況下で工事を執行するためには、公共工事積算基準に基づく適正価格を大幅に上回る事業費を見込む必要がある

2 今後の本市新図書館建設に向けた方針

・本計画は平成30年度の「地域タウンミーティング」・「未来ビジョン会議」を皮切りに、「図書館・文化ホール建設に向けた検討会」や「市民ワークショップ」など、1,000人をも超える市民の皆様に携わっていただきながら共に進めてきたものであり、多くの方々の新図書館に対する期待や想いが込められたものである

・現状で再度入札を執行しても、不調となる可能性が高いことから、入札の執行を見送り、本市のみならず全国的な建設業界の動向を注視し、発注時期を見極める【工事費37億円は変更しない方針】

・これまで新図書館に携わってくださった方々の想いを無駄にしないためにも、建物の形状・構造などは維持し、現計画を破棄することなく、『夢と未来を育む図書館』の実現を目指す

3 本計画に携わってくださった方々

年	内容	参加者数 (延べ)	年	内容	参加者数 (延べ)
H30	地域タウンミーティング	850人	H30	未来ビジョン会議 『図書館・文化ホールの検討』	46人
H30 ~R2	図書館・文化ホール 建設に向けた検討会	79人	R2	伊東市新図書館 基本構想策定委員会	40人
R2	市民ワークショップ	99人	R2	小学生ワークショップ	18人
R3	都市再生整備計画	費用便益分析アンケート			663件
R4	新図書館説明会 【周辺町内会対象】	16人	R5	新図書館市民説明 会	42人